

道しるべ

第51号

「梅雨（五月雨）」

撮影：森 正廣 2018.5.19

もう、何十年も前のこと。 学校卒業して初めての東京。
ワクワクドキドキの入社一年目、よしこれから頑張るぞー・・・。
そして五月に入り、少しホームシックに物悲しさを感じていました。
六月になり、毎日が「しとしと・じとじとの長雨、気が滅入るような毎日の☔☔☔」
ズボン、ワイシャツは、汗と雨でべとべと、いつものバス・電車はストライキ？
寮の部屋には大きな見たこともないムカデ！
とにかく毎日が初めての経験、閉口する日々(;▽;) 北海道に帰りたい。
先輩に、最近どうしたんですかね、毎日のように雨ですねー・・・変ですよー
先輩曰く、「そうか、お前北海道だよなあー」???
その時まで、私は梅雨の存在を知りませんでした。
今でも忘れない出来事でした。



北海道には、梅雨がなく快適なシーズン、北海道にいるとそれが当たり前。
12月から3月までの、雪の4ヶ月をガマン、後は過ごし易い8ヶ月。
春は、桜と梅が一度に満開に、本州には考えられない光景が、そしてスカッとした
青空の夏、紅葉収穫食欲の秋、一面真っ白な銀世界の冬、四季折々の北海道。
これから益々良い時期を迎えます。 私はこの北海道が大好きです。
梅雨時期の本州の皆さんにはご愁傷さます。

ぜひ空気の美味しい北海道に遊びに来て頂きたいと思います。




「雨が降れば傘をさそう、傘がなければ一度は濡れるのも仕方がない。
ただ、雨があがるのを待って二度と雨に濡れない用意だけは心がけたい。
雨の傘・仕事の傘・人生の傘、いずれにしても傘は大事なものである。」(松下幸之助)

あっ！この文章も「五月雨式」にならないようにこの辺で切り上げます。

平成30年6月 森 正廣

「制服を着ている意味」

私たちが毎日乗務する車両と着用する制服には  と社名が大きく記載されています。社名が大きく入ったトラックは「**会社の広告塔**」であり、会社のブランド戦略でもあります。社名が記載された制服を着ているドライバーも「**会社の広告塔**」であり、その姿は会社の一員としてのプライドの表れです。

広告塔とは世間やお客様に見てもらうためのものです。

だから運転中でも休憩中でも、いつでもどこでもルールを守り「魅せる仕事」を見せて、良い評価を得ることが広告塔の目的です。



仕事を魅せるプロの条件として仕事道具にもこだわりを持ち、大切に使用しましょう。

仕事道具であるトラック車内外の清掃はもちろん、制服も肌身離さず使用している仕事道具の一つです。制服を清潔に正しく着用することもプロの仕事の技術であり、大切にすることが安全や品質の向上につながります。



身だしなみにも「マナーがよい」と言われるための技術があります。

制服が配達時に汚れる事もありますが、翌日にきれいな制服で出勤することは心がけ次第で十分可能です。

身だしなみは「やろう！」と思えば全員が即実践可能ですし、**競合他社との差別化**につながります。



やろうと思えば簡単にできることでも、思っているだけではできません。

全員で実践すれば習慣になり、会社の社風になるはずです。



たかが制服、されど制服。

服装の乱れは心の乱れを表す状態であり、心の乱れは運転の乱れに表れます。

よって、身だしなみを整えることは、安全になれる条件を整えることにも通じるのではないのでしょうか。

身だしなみは「**自分流にならない**」ように、挨拶は「**雑にならない**」ように、

確認は「**手順を省かない**」ように。

自身のエラーメッセージに気づいたら、誰かに気づかれる前に自分で修正できるのも **プロドライバーの条件**です。